

皆さん、おはようございます。そして、新年おめでとうございます。今朝、正門で皆さんの元気そうな顔を見て、「さあ、3学期が始まるぞ」と、私自身も気持ちを引き締めているところです。

この冬休み、皆さんはどのように過ごしていましたか？部活動の遠征で成果を出した人、あるいは直近の大会や発表に向けて練習に励んだ人もいるでしょう。また、冬の全国大会で同年代の選手たちが精一杯戦う姿に、感動や刺激を受けた人も多かったのではないのでしょうか。

さて、2026年が始まりました。私は毎年年初に、その年の数字の成り立ちについて考えることにしています。今年の「2026」は偶数ですが、素数ではありません。約数は「1、2、1013、2026」の4つです。1と自分自身以外の約数がすべて素数である数は「半素数」と呼ばれます。

一見、地味な数字のようにも思えますが、面白い特徴があります。2026は、各位の数字を足すと(2+0+2+6)ちょうど「10」になります。そこで、西暦の中で「和が10になる年」が過去に何回あったかを調べてみました。

- 2桁の年(19年~91年)で9回。
- 3桁の年(100年代~900年代)で54回。

604年 十七条憲法が制定

712年 古事記が完成

- 1000年代で55回。

1333年 鎌倉幕府 滅亡

1603年 江戸幕府 開府

- そして2000年代に入ってから、今年が3回目です

ちなみに、2008年と2017年と、そして今年、2026年。

2008年と言えば、2年生の多くの人が、2008年生まれでしたよね。(人生で3回め)

2桁の年は、19年,28年,37年,...,91年の9回

3桁の年は 100年代には、109年,118年,127年,...190年の10回

200年代には、208年,217年,...,280年の9回

300年代 ...

...

900年代には、901年と910年の2回

つまり、3桁の年で各位の数の和が10になるのは、 $10+9+8+\dots+2=$ 54回

4桁の数だと

- 1000年代は、百の位以下の各位の合計が9になればいいので、

下2桁が9になるのは、09,18,27,...,90の10回

下2桁が8になるのは(百の位も1)、08,17,26,...,80の9回

...

下2桁が0になるのは(百の位が9)1900の1回)

ということで、1000年代には、1~10までの和の55回

- 21世紀(2000年以降)は、

下2桁が8になるのが、08,17,26,35,...,80の9回あり、

その3番目が2026年、今年です。

つまり、今年、各位の数の和が10になる、 $9+54+55+3=$ 121回めの年になります。

つまり 2026 年は、西暦が始まって以来 **121 回目**の「和が 10 になる年」なのです。

この「121」という数字も味噌、味のある数ですね。そう、「11 の 2 乗」ですから、どこか数学的な神秘を感じる年でもあります。

処で、次に 4 桁の数の合計が 10 になるのは、いつでしょう。

そう、9 年後の 2035 年です。すなわち、本校・大冠高校が創立 50 周年を迎える節目の年です。昨年 11 月に 40 周年記念式典を終えたばかりですが、今年は次の 10 年、つまり 50 周年に向けた「新たな一歩」を刻む重要な年となります。

今日から始まる 3 学期、皆さんには、日々、着実な歩みを進めてもらいたいと願っています。

最後に、各学年へメッセージを送ります。

3 年生へ。

大冠高校での学びも、残りあと僅かとなりました。今週末の「大学入学共通テスト」や一般入試を控えている皆さんは、もうひと踏ん張りです。最後まで諦めずに挑んでください。

また、4 月からの新生活に備え、残り少ない高校生活の一日一日を大切に過ごしてください。

2 年生へ。

2 年生の皆さんにとって、今年は進路希望を形にするための「勝負の年」です。総合型選抜を考えている人は、専門学校等、早い処で 6 月から出願が始まります。就職を希望する人も、9 月には試験が解禁されます。それまでに企業研究を行い、求められる素養を高めておかなければなりません。

学校推薦型選抜を考えている人は、秋には本番を迎えます。これまでの活動を自信に変え、自分の未来を切り拓く原動力に出来るよう、知識を身につけ、それらをしっかりと活用(考えたり、伝えたり)してください。

1 年生へ。

2 学期の職業研究などを踏まえ、自分の進むべき方向をしっかりと見定めましょう。

進級に不安を感じている人もいるかもしれませんが、まずは自分なりに高い目標を掲げ、学習に励んでください。

3 学期はあっという間に過ぎ去ります。

健康管理を徹底し、規則正しい生活を送りながら、この短い期間を充実したものにしてください。今日からまた、共に頑張っていきましょう。

以上、3 学期 始業式の式辞といたします。